

めと城^{しろ} ぐち× りぎ旅^{たび}



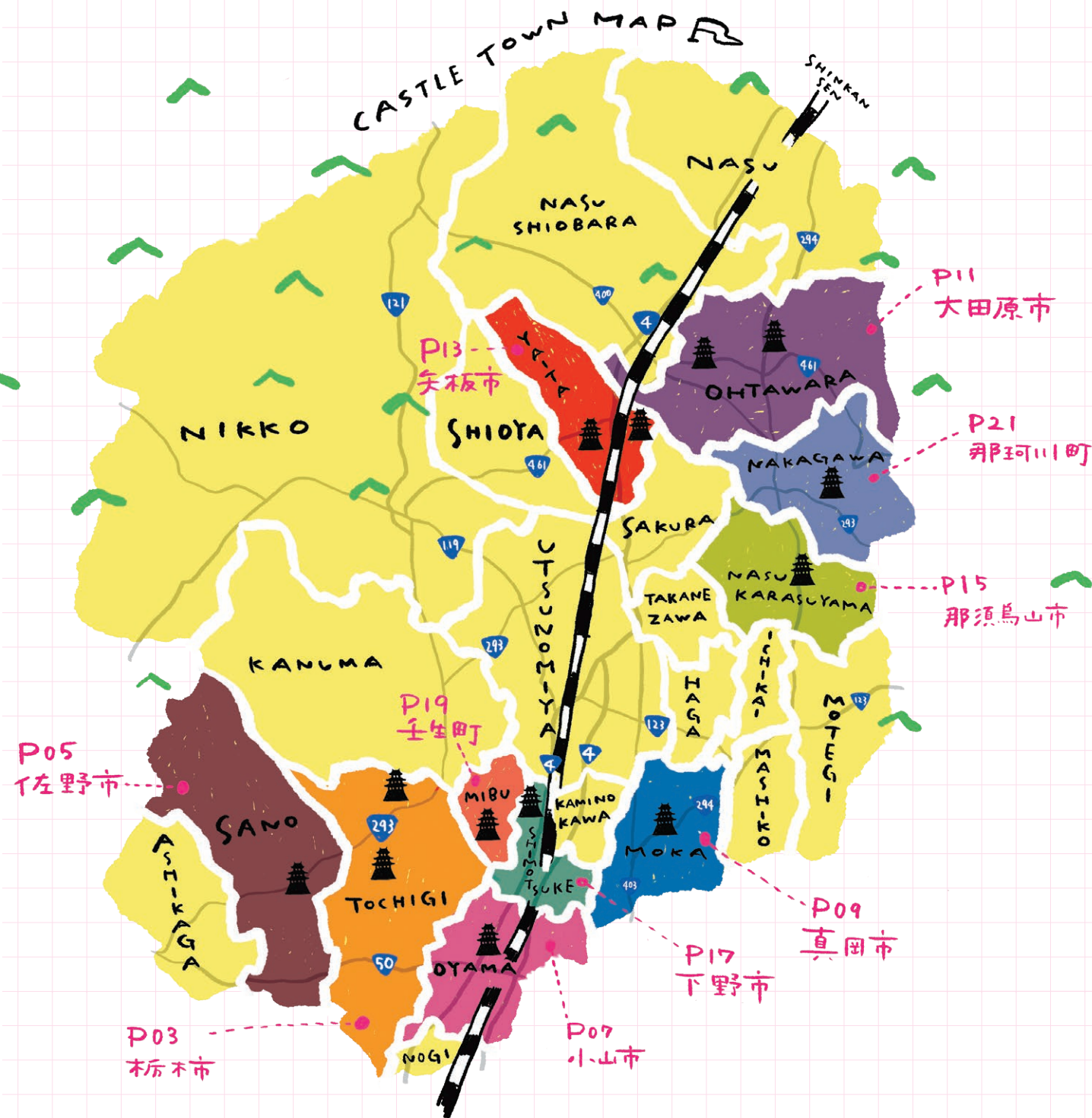
Tochigi Castle Town Guidebook

本物の出会い 栃木



城×旅 とちぎめぐり。歴史を感じる城跡をたどりながら、ご城印を集め、四季の景色や地元グルメも楽しむ小さな旅へ。気軽なおでかけにも、ちょっと特別な一日にもぴったり。あなただけの“とちぎめぐり”を見つけてみませんか。

P03		No.01	／	栃木市
P05		No.02	／	佐野市
P07		No.03	／	小山市
P09		No.04	／	真岡市
P11		No.05	／	大田原市
P13		No.06	／	矢板市
P15		No.07	／	那須烏山市
P17		No.08	／	下野市
P19		No.09	／	壬生町
p21		No.10	／	那珂川町





にしきたじょうあと 西方城跡

栃木市西方町にある標高221mの山に広がる山城です。山頂部には南北の丘陵尾根上に主要な郭が連なり、山麓部は方形の郭を中心とする郭群で構成されています。城主は宇都宮氏の家臣で天文17(1548)年以降の西方氏4代目綱貞から7代目綱吉までと、慶長6(1601)年に結城秀康領、同8年に藤田信吉となります。西方城跡には、階段状の郭や長方形の出入り口(虎口)が多用され、築城技術の変遷から当時の関東の政治的緊張が推測できます。山麓の長徳寺の脇からお城へ上る道があります。自然な山の環境で、トイレがありませんので、ご注意ください。

📍 栃木市西方町本城 🅕 15台(西方城跡見学者用駐車場)



御城印の
市役所4階文化課窓口
📍 栃木市万町9-25
☎ 0282-21-2497
(栃木市教育委員会文化課)

DX版

みながわじょうし 皆川城址

標高147mの山を中心に築かれた山城で、山頂の主郭から帯状の郭が何段にも連なり、往時の城郭構造を今に伝えています。築城年代は不明ですが、15世紀後半頃から皆川氏が代々この地を治め、皆川広照が城主であった慶長年間に現在の栃木市中心部(栃木城)へ拠点を移したことなどにより廃城になったと考えられます。正面の大手道を挟んで二本の長大な堅堀や山全体を囲む深い横堀に圧倒されます。山麓の居館跡には方形の堀跡も確認できるなど戦国期の山城の姿をよく伝える貴重な遺構です。

📍 栃木市皆川城内町628(皆川城址公園) 🅕 40台(皆川公民館駐車場)



☎ 0282-21-2497(栃木市教育委員会文化課) / 0282-21-2373(栃木市観光振興課)



周辺スポット紹介



1 道の駅にしきた

栃木市西方町元369-1

農産物直売所「ふれあいの郷」や物産館「さくら」で、西方町の特産品である「いちご」、コシヒカリ「桜おとめ」など新鮮な農産物や物産品の販売、農村レストラン「ふるさと一番」では地域の食材をふんだんに使った料理を楽しめます。
☎ 0282-92-0990 🅕 普通車135台



3 柏倉温泉太子館

栃木市柏倉町967

北柏倉の山間にある栃木市唯一の温泉宿です。静かな佇まいに和風の離れ形式の宿で、ゆっくりくつろいだ時間を過ごすことができます。

☎ 0282-23-5035 🅕 約100台



2 飯沼銘醸

栃木市西方町元850

「杉並木」、「姿」などの銘酒を醸す酒蔵です。銘酒の店頭販売のほか、11月上旬〜3月中旬頃には酒蔵見学も行っています。※見学は要予約(10名以下)のため、まずはお電話にてお問い合わせください。
☎ 0282-92-2005 🅕 3台



4 金剛寺(皆川家歴代祖廟) 栃木市皆川城内町1947

皆川城下にある金剛寺は、皆川氏の祖となった長沼秀宗に始まり、戦国時代から江戸時代、そして現代に至るまで約600年を経て、歴代の当主が一代も欠けることなく埋葬されてきたという全国的にも珍しい祖廟があるお寺です。金剛寺には皆川広照公着用の南蛮胴具足などの多くの文化財が収蔵されています。

☎ 0282-23-2746 🅕 60台



佐野市には「佐野らーめん」「いもフライ」「佐野黒から揚げ」など、たくさんのお土産があり、佐野ブランドキャラクター「さのまる」も活躍中です。市域は、南北に広がり、南部にはプレミアムアウトレットをはじめとした各種商業施設が立地しており、一方北部は豊かな自然環境に恵まれています。東京から70km圏内関東平野の北端に位置し、鉄道・自動車・高速バスいずれを利用して、東京から90分程度で来ていただける都会にとっても近いまちです。東北自動車道・佐野藤岡ICをはじめ、4つのインターチェンジを持ち、その立地条件から道路交通の要衝として期待されています。



御城印の
唐澤山神社社務所
佐野市富士町1409
0283-24-1138(唐澤山神社)



からさわやまじょうあと 唐澤山城跡

平安時代の末から佐野庄を統治した佐野氏が築いた唐澤山城は、標高242mの急峻な山頂を本丸として広範囲に城造りの跡が残っており、国指定史跡の面積は194haにのぼる大規模なものです。本丸跡には、西口に虎口があり、城門の礎石も残っています。本丸や南城周辺では400年以上前に築かれた高さ8mを超える貴重な高石垣が訪れる人々を出迎えてくれます。

佐野市富士町1409 P 約100台 ☎ 0283-25-8520(佐野市文化財課)



周辺スポット紹介



1 佐野厄よけ大師

佐野市金井上町2333

天慶7(944)年、奈良の僧有尊上人が開いた寺。厄除け元三慈恵大師を安置して、厄除け、方位除けの祈願が続いています。正月になると大祭を開催し、厄除けをはじめ、身体安全や心願成就などのご利益があります。また、徳川家康の遺骨を久能山から遷送の際、この寺に一泊するなど、徳川家康との縁も深いところです。

☎ 0283-22-5229 P 約30台(境内)その他周辺に専用駐車場あり



3 唐澤山神社

佐野市富士町1409

唐澤山神社は藤原秀郷公の居城址で、標高240mながら全山赤松に覆われ断崖と深い谷に囲まれた自然の要塞をなし、今なお当時をしのぶ遺跡が数多くあります。「むかで退治」の伝説でも名を知られる藤原秀郷公(田原藤太秀郷)の遺徳をたえ、秀郷公の御霊を祀っています。 ☎ 0283-24-1138 P 約100台



2 道の駅どまんかたぬま

佐野市吉水町366-2

広い館内には、レストラン、手作りジェラート、パンなどのお店があります。地元産新鮮な野菜類やブランド米、物産品が充実!佐野らーめんやいもフライ等、佐野市のお土産が揃います。 ☎ 0283-61-0077

P 普通車412台、大型車22台、身障者用10台 休 毎週水曜



4 梅林公園

佐野市富士町1387

梅林公園は、唐澤山の東の裾野に位置し、山の自然と調和した庭園風の緑豊かな所です。園内には、約200本(白梅・紅梅)のほか、桜など多くの花木が植栽されており、春の梅の開花時期には、遠く県外からも大勢の花見客が訪れています。 ☎ 0283-20-3101 P 43台



小山市は栃木県南部、関東平野のほぼ中央に位置しており、東京から約60km、新幹線が停車するアクセス利便性の高い交通の要衝です。市街地の周辺部では農地や平地林の田園風景が広がり、コウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地である「渡良瀬遊水地」をはじめとする豊かな自然と、数多くの歴史的・文化的資産を有した、農業・工業・商業の調和のとれたまちとして発展しています。



購入
城印
場所の

おやま本場結城紬クラフト館(小山市観光案内所)
 小山市中央町3-7-1ロプレビル1階
 ☎0285-32-6477(クラフト館)
 ☎0285-30-4772(観光協会事務局)
 ㊿月曜(月曜祝日の場合は翌日)、年末年始

ぎおんじょうあと
祇園城跡

祇園城は、小山市の中央を流れる思川のほとりに築かれており、天然の外堀を持つ堅固な城塞であったと伝えられています。祇園城のあった場所は現在、城山公園として整備され、土塁や空堀などの遺構が明瞭に残っている他、城跡内にはイチョウの古木があり、小山市の天然記念物に指定されています。また、春になると公園内にはソメイヨシノやオモイガワザクラが咲き誇る桜の名所となっています。この他、小山市には鷲城、中久喜城という城跡もあり、併せて市民から親しまれています。

小山市城山町1 P 800台(市役所駐車場)

☎0285-22-9273(小山市商業観光課) / 文化財そのものに関すること 0285-22-9669(小山市文化財課)



周辺スポット紹介

1 小山評定跡

小山市中央町1-1-1

関ヶ原の戦いにおける、徳川家康率いる東軍の結束を固めたとされる軍議「小山評定」。小山市のシンボルとして、市役所の一角に石碑が建立されています。



☎0285-22-9273(小山市商業観光課) P 800台(市役所駐車場)
文化財そのものに関すること ☎0285-22-9669(小山市文化財課)

2 小山御殿広場

小山市中央町1-1-1

小山評定の吉例にならない、徳川家の日光社参の際の休憩・宿泊所として元和8(1622)年に「小山御殿」が歴史に登場します。現在は市民の憩いの場として、時にはイベントにも活用されています。令和7(2025)年7月にはこの「小山御殿」の御城印も作成されました。

☎0285-22-9273(小山市商業観光課) P 800台(市役所駐車場)
文化財そのものに関すること ☎0285-22-9669(小山市文化財課)



3 須賀神社

小山市宮本町1-2-4

天慶3(940)年、藤原秀郷が京都の八坂神社より御分霊を迎え創建した神社です。徳川家から奉納された社宝の朱神輿は、純金箔と国産漆などで彩られており、常設展示されています。(休館日有、要問合せ) ☎0285-22-0101 P 50台



4 まちの駅思季彩館

小山市中央町3-5-3

地元産の新鮮な農産物や、オリジナルのクラフトビール、おやまブランドセレクションの物産品などを販売し、観光案内も行うアンテナショップです。館内ではボリュームたっぷりの定食もいただくことができます。

☎0285-25-5611 P 5台 休 水曜、年末年始



もおかし
真岡市は、栃木県南東部に位置する、自然と歴史、そしておいしい魅力にあふれたまちです。真岡鐵道を走るSLの汽笛が響き、全国有数のいちごの産地としても知られています。のんびりと散策しながら、真岡ならではの文化や食を楽しめる、心ほどける時間が流れる場所です。真岡市は東京都から90km圏内、車なら真岡ICの利用が便利で近隣エリアへのアクセスも良好です。



真岡市観光物産館
御入城印の
真岡市荒町1105-1
0285-82-7205

二宮尊徳資料館
真岡市物井2013-2
0285-75-7155

もおかじょうあと
真岡城跡

豪族・芳賀氏が南北朝期～戦国期に用いた平山城で、別名“芳賀城”“舞が丘城”ともいわれます。東側は沼と川、北側は土塁、西側は10mの崖があり、自然の要害となっていました。築城は1362年15代芳賀高貞が御前城から移転したとする説が有力です。廃城は24代芳賀高武の時、慶長2(1597)年豊臣秀吉によって改易されました。敷地は細長い楕円形で、本丸、二の丸、三の丸があり、隣接する城山公園にも関連施設がみられました。土塁や遺構が残存するため平成13(2001)年2月28日真岡市指定史跡になっています。

真岡市台町 P 7台 0285-82-2012(真岡市観光協会)



周辺スポット紹介



1 株式会社辻善兵衛商店 真岡市田町1041-1

創業宝暦4(1754)年。真岡に唯一残る酒蔵。全国新酒鑑評会にて11年連続金賞を受賞。その確かな技術とあふれる思いで醸す酒は、どれも洗練された味わいです。随時、地酒館にて試飲実施中。

0285-82-2059 P 8台



2 真岡木綿会館 真岡市荒町2162-1

綿の栽培から機織りまで一貫して手作業で行ってます。機織り体験、染色体験、工房見学を楽しめます！(要予約)気軽に買える真岡木綿のペンケースやポーチなどのお土産も多数ご用意しております。

0285-83-2560 P 約30台(まちあるき駐車場)

まちのお休み処
もめん茶屋

真岡市荒町2165-1
木綿会館の隣！
ランチや休憩に。

090-2322-0228



3 ミチヨコーヒー 真岡市荒町1099-4

「一杯のコーヒーとキミとのおしゃべり」をテーマに、コーヒーと焼菓子を販売しています。城跡巡りの後に心地よい音楽やアートに浸りながら、おいしいコーヒーと焼き菓子を！

@michiyo_coffee P 約30台(まちあるき駐車場)



4 喫茶 恋とカセット 真岡市田町1065-2

築50年の喫茶店をリノベーション。昭和にタイムスリップしたかのような雰囲気を楽しむ令和のレトロな喫茶店。おすすめは、こだわりのナポリタンをはじめ、プリンやクリームソーダなどの、ザ・喫茶店のメニュー。

080-3016-2064 P 8台



くろばねじょうあと 黒羽城跡

天正4 (1576) 年に大関高増により築城され、戦国時代には東北への備えとして大切にされていました。黒羽藩は西洋式看護の訓練を受けた看護師・大関和の父・増虎が仕えていたことでも知られています。現在は、黒羽城址公園として整備されており、6月には紫陽花まつりが開催される名所となっています。

📍 大田原市前田980 🅕 50台
☎ 0287-23-3145 (大田原市商工観光課)
☎ 0287-54-1110 (大田原市観光協会)



購御
入城
場印
所の

黒羽芭蕉の館

📍 大田原市前田980-1
☎ 0287-54-4151 (黒羽芭蕉の館)



おおたわらじょうあと 大田原城跡

大田原資清により築城されました。徳川家康から「関東最北の要衝」とされ、大筒を賜りました。これは戊辰戦争の際に使用したと言われています。現在は、龍城公園として整備されており、花見の名所として親しまれています。

📍 大田原市城山2-16-27 🅕 40台
☎ 0287-23-3145 (大田原市商工観光課)
☎ 0287-54-1110 (大田原市観光協会)



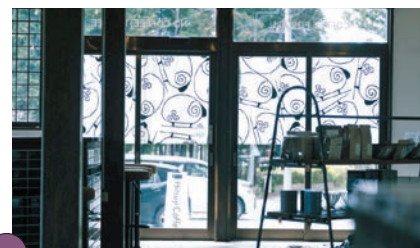
購御
入城
場印
所の

大田原神社／光真寺

📍 大田原市山の手2-2039 (大田原神社) / 大田原市山の手2-11-13 (光真寺)
☎ 0287-54-1110 (大田原市観光協会)



周辺スポット紹介



1

ひつじ珈琲 大雄寺店

大田原市前田928-1

黒羽藩主・大関家の菩提寺である大雄寺近くにある、伝統的な木造建築のレトロなカフェ。焙煎にこだわったコーヒーとスイーツで、城址散策の合間にほっと一息。

🅕 15台



2

道の駅那須与一の郷

大田原市南金丸1584-6

新鮮野菜やおみやげを購入するならこちら。打ち立てのそばのほか、季節ごとのジェラートも名物です。裏手には那須与一ゆかりの那須神社があり、楼門や本殿は国指定重要文化財です。

☎ 0287-23-8641 🅕 300台



3

那須与一伝承館

大田原市南金丸1584-6

源平屋島の戦いで活躍した弓の名手・那須与一を紹介する資料館です。与一が身に付けていたとされる太刀や、那須家伝来の資料の数々が展示され、劇場では扇のり当てを再現した人形劇を上演しています。

☎ 0287-20-0220 🅕 300台



4

御菓子司いづみ

大田原市山の手1-2-18

大正15 (1926) 年創業の和菓子店です。大田原で発掘された縄文土器をかたどった縄文最中が名物です。

☎ 0287-22-2448 🅕 3台





かわさきじょうあと 川崎城跡

矢板市の公式キャラクター「ともなりくん」のモチーフになっている塩谷朝業（しおのやともなり）が、1200年頃に築城したと伝えられています。現在は、川崎城跡公園として整備されており、園内には空堀や土塁、本丸や二の丸などの見所があり、歴史をしのぶことができます。

📍 矢板市川崎反町720 🅇 約30台



ごぜんはらじょうあと 御前原城跡

古くは中村城跡と呼ばれ、平安時代の末期に、塩谷地方最初の領主である塩谷（堀江）頼純が築城し、宇都宮氏から養子になった朝業も当初居住したと伝えられています。本丸跡には、はしか地蔵尊と呼ばれる、削った粉を飲めばはしかが軽くすむとの信仰から、表面を削られた珍しい地蔵があります。現在は、御前原公園として市民から親しまれており、桜の名所としても知られています。

📍 矢板市早川町174 🅇 約20台



購御
入場
印の
所

矢板武記念館窓口／市生涯学習館1階生涯学習課窓口

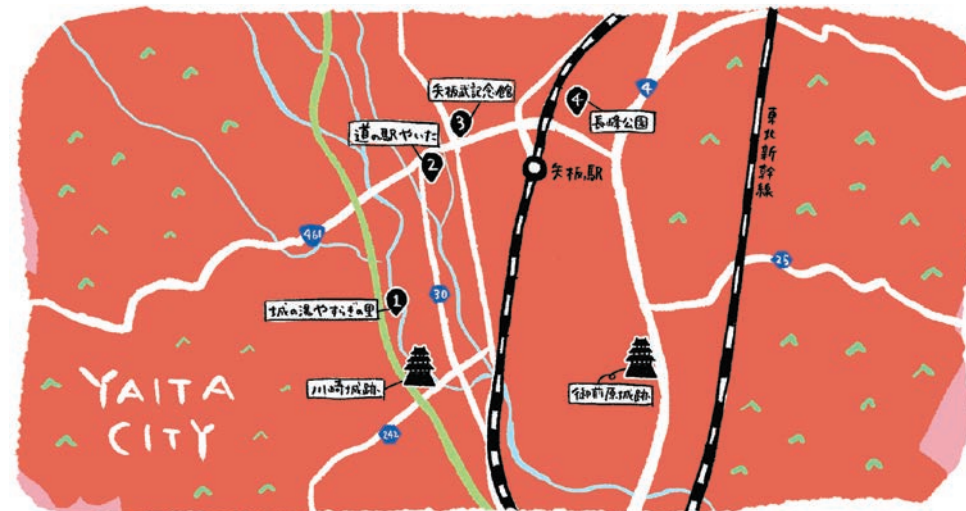
📍 矢板市本町15-3（矢板武記念館）／矢板市矢板106-2（矢板市生涯学習館）
☎ 0287-43-6218（矢板市教育委員会事務局 生涯学習課文化担当）

☎ 0287-43-6218（矢板市生涯学習課）／0287-43-6211（矢板市商工観光課）



矢板市は栃木県北部に位置しており、北部には日光国立公園の一部である高原山が広がっています。さらに、当市最大級の観光地であり、象徴でもある八方ヶ原は、春には、約20万株のレンゲツツジが辺り一面を朱色に染め上げ、秋には、木々が織りなす紅葉の色彩を楽しむことができます。

また、交通アクセスも優れており、東北自動車道「矢板I.C.」「矢板北スマートI.C.」が整備されているほか、国道4号も南北を縦貫しており、首都圏から東北地方へ高精度の輸送も可能です。



周辺スポット紹介



1 城の湯やすらぎの里

矢板市川崎反町295

川崎城跡の麓に位置し、源泉から湧き出る良質な湯を大浴場と露天風呂で楽しめます。季節ごとに変わる「しょうぶ湯」「りんご湯」「ゆず湯」も魅力です。

☎ 0287-44-1010 🅇 200台



2 道の駅やいた

矢板市矢板114-1

矢板の特産品「やいたブランド」の商品も豊富に取り揃えており、地元の味を楽しみながら、お土産選びにも最適なスポットです。

☎ 0287-43-1000 🅇 普通車87台、大型バス9台



3 矢板武記念館

矢板市本町15-3

矢板市の近代化を支えた郷土の偉人、矢板武の功績を紹介する記念館です。館内には樹齢190年のシダレザクラがあり、フォトスポットとしても人気です。

☎ 0287-43-0032 🅇 市役所駐車場をご利用ください



4 長峰公園

矢板市中416-1

日本の都市公園100選に選ばれた長峰公園は、約5,000本のつつじが咲き誇る矢板のシンボルです。夜間のライトアップが行われ、幻想的な花々を楽しむことができます。

☎ 0287-43-6211（矢板市商工観光課） 🅇 180台



栃木県の東端に位置する那須烏山市は、八溝山系の豊かな緑を背景に、関東随一の清流・那珂川が平野部をつらぬき、日本の原風景を残す美しい田園風景や里山が広がるまちです。国指定重要無形民俗文化財であり、平成28(2016)年にユネスコ無形文化遺産に登録された「烏山の山あげ行事」や、令和5(2023)年3月に国指定史跡となった「烏山城跡」をはじめとする遺跡群など数多くの文化遺産が残り、歴史と文化が息づいています。



購御
入城
場所
の

一般社団法人那須烏山市観光協会
那須烏山市金井2-5-26
0287-84-1977

からすやまじょうあと
烏山城跡

烏山城は、源平合戦の折、扇の的を射落とした那須氏一で有名な那須氏一族によって、約600年前に築城されたと言われ、那須氏の居城として知られています。城主の交替を経ながら、明治を迎え廃城になるまで使用されました。現在でも三の丸跡からの本丸への通路沿いには、堀や土塁、石垣などを見ることができます。

那須烏山市中央3-1 P 5台(七曲口) / 15台(市役所烏山庁舎 北側駐車場)
0287-88-6223(那須烏山市生涯学習課) / 0287-83-1115(那須烏山市商工観光課)



周辺スポット紹介



1

龍門の滝

那須烏山市滝414

大蛇が棲むと伝えられる大滝です。滝の近くにある「龍門ふるさと民芸館」にはカフェが併設されており、テラスから滝を眺めてゆっくりとした時間を過ごせます。

0287-83-2765(龍門ふるさと民芸館) P 27台



2

山あげ会館

那須烏山市金井2-5-26

460年以上の伝統を誇る日本一の移動式野外劇「山あげ祭」を、人間そっくりのロボット『勘助じいさん』が紹介してくれます。

0287-84-1977(那須烏山市観光協会) P 80台



3

烏山和紙会館

那須烏山市中央2-6-8

奈良時代からの歴史をもつ烏山和紙。宮内庁御用達として宮中歌会始の懐紙に選ばれています。厚紙の至宝と名高い「程村紙(ほどむらがみ)」は、国の選択文化財です。

0287-82-2100 P 10台



4

烏崎酒造のどうくつ酒蔵

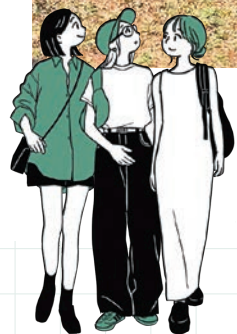
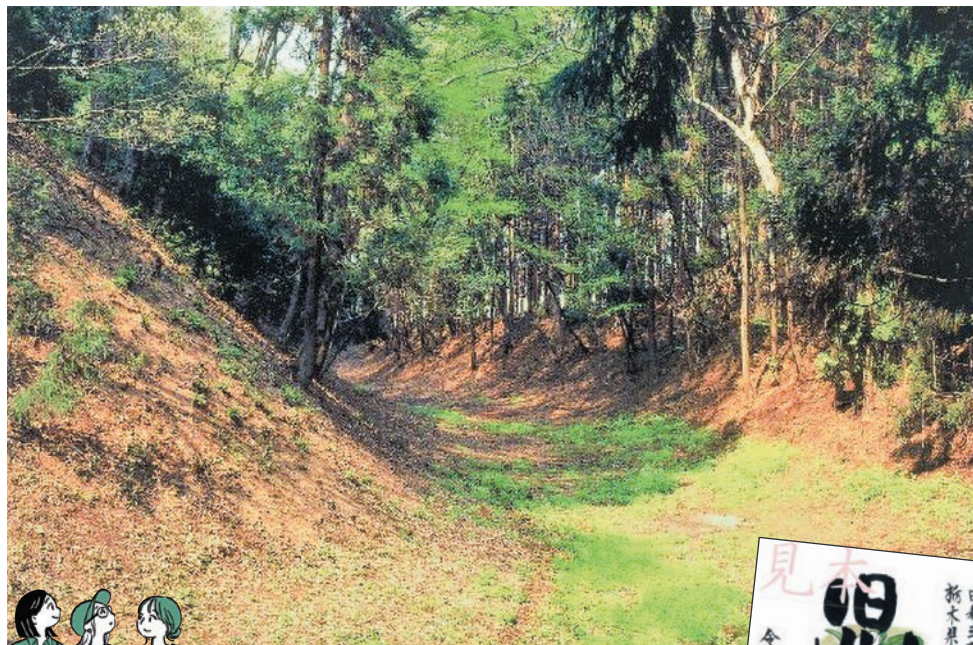
那須烏山市神長字天神149
(開放日はHPを確認)

嘉永2(1849)年創業の老舗蔵元が酒蔵として使用している洞窟は、第二次世界大戦末期に戦車の製造をするために造られたもの。現在は酒蔵として利用されるほか、地域のイベントや映画の撮影にも活用されています。

0287-83-1221(烏崎酒造) P 12台



下野市は栃木県中南部に位置し、JR宇都宮線の石橋駅・自治医大駅・小金井駅を中心に広がる自然豊かなコンパクトシティです。石橋駅と壬生町を結ぶ「ゆうがおバス」の運行ルート付近は児山城跡等の日本の歴史文化を感じる施設のほか、グリムの里づくりをコンセプトとした西洋風の建築物が点在しています。

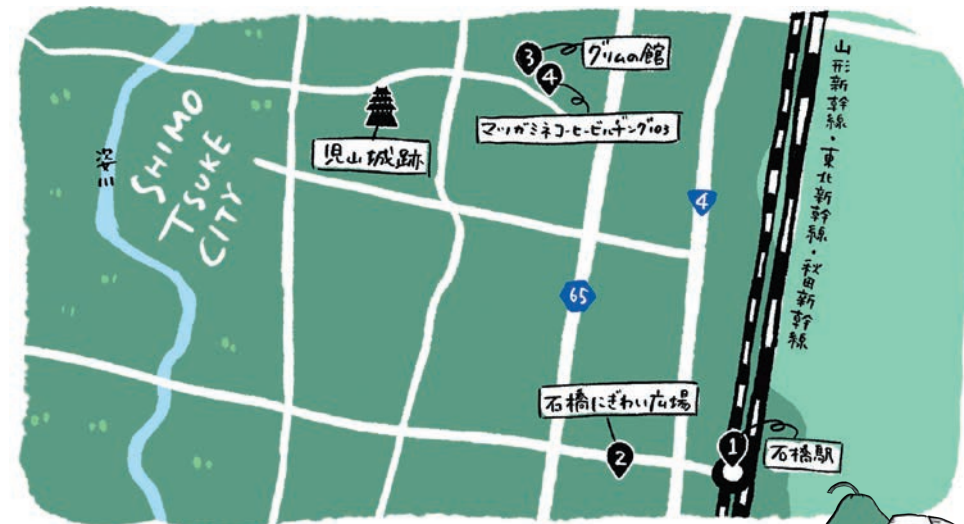


御城印の
購入所
グリムの館
下野市下古山747
☎0285-52-1180
(一般財団法人グリムの里いしばし)

こやまじょうあと 児山城跡

児山城は、多功城・上三川城とともに宇都宮城の南方を守るために築かれた城です。今から約700年前の鎌倉時代の終わりに、宇都宮頼綱の四男多功宗朝の次男（又は三男）朝定が築城したと伝えられます。城は姿川東岸の台地上に築かれていて、本丸を中心として堀や土塁が良好に残されています。

📍下野市下古山957 🅐3台 ☎0285-32-6105(下野市文化財課)



周辺スポット紹介



1

石橋駅

下野市石橋240

からくり時計を眺めながら、バスに乗って石橋散歩開始！

☎0285-32-8907(下野市商工観光課)
🅐5台(待合での使用のみ)



2

石橋にぎわい広場

下野市石橋552-4

屋根付ベンチや初代公選栃木県知事像がある街中の休憩場所です。
☎0285-32-8907(下野市商工観光課)



3

グリムの館(グリムの森)

下野市下古山747

「グリムの森」は、雑木林を活かした公園とドイツをイメージして造られた建物「グリムの館」からなる、グリムの里づくりのための中核的施設です。シンデレラやラプンツェルなどのグリム童話の世界に浸れます。
☎0285-52-1180 🅐117台



4

マツガミネ コーヒービルディング103

下野市下古山747
グリムの森

心温まるコーヒーやお料理、スイーツをご用意してお待ちしております。ひとりでもだれとでも、フラッとお越しください。

☎0285-32-6646 🅐117台(グリムの館駐車場利用)



壬生町は栃木県央南部に位置し、西境を思川、中央部を黒川、東境沿いを姿川が流れており、関東平野の北部に当たるほぼ平坦な地形です。全国的にも珍しい地名「おもちゃのまち」があります。また、東武宇都宮線の4つの駅が町内にあるとともに、北関東自動車道「壬生I.C」が東北自動車道と連結しており、広域的交通の利便性が高い町となっています。



御城印の
購入場所

道の駅みぶ La chic marche/
壬生町立歴史民俗資料館/
役場本庁舎商工観光課

● 壬生町国谷1532-1(道の駅みぶ)
壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館)
壬生町壬生甲3841-1(壬生町役場商工観光課)
☎ 0282-81-1844(壬生町商工観光課)

みぶじょうあと
壬生城跡

壬生城は文明年間(1469年～1487年)に壬生氏第2代当主壬生綱重によって築かれたと言われています。江戸期に入ると城主が幾度か変わりましたが、正徳2(1712)年に鳥居忠英(ただてる)が水口城(滋賀県)から3万石で入封すると、明治維新まで鳥居家による七代の居城として使用されました。鳥居家は、関ヶ原の戦いの前哨戦にあたる伏見城の戦いで徳川方の大将として4万の西軍を2千人足らずで2週間食い止めたのち、自刃した忠臣鳥居元忠の子孫です。鳥居元忠は鳥居家中興の祖として、城内の「精忠神社」に祀られています。また、本殿裏側には、元忠公が自刃した伏見城の血染めの量が納められた「量塚」があります。壬生城は、日光道中壬生通の途上にあることから、將軍家の日光東照宮参詣(日光社参)では、宿城という重要な役割を担う城でもありました。

● 壬生町本丸1-8-33 ● 230台 ☎ 0282-82-8544(壬生町立歴史民俗資料館)



周辺スポット紹介



1 道の駅みぶ

壬生町国谷1532-1

新鮮な産直野菜やいちご、お土産がそろそろセレクトショップに加え、天候に左右されず1日中子どもが遊べるおもちゃ博物館、自然豊かな公園など、多彩な施設を備えた“日本一広い道の駅”です。特に、いちごを使ったスイーツはぜひ味わっていただきたい自慢の逸品。壬生PAに併設しており、高速道路・一般道のどちらからでもアクセスでき、便利に立ち寄れます。さらに、令和8(2026)年4月にはリニューアルオープン!新道の駅みぶをお楽しみください。 ☎ 0282-82-3591 ● 普通車239台、大型3台



3 日本料理 旬香

壬生町通14-15

オリジナルブレンド油で揚げる天ぷらは、カラッとサクッと胸焼けしないおいしさです。旬の食材をふんだんに使ったお料理をいただけます。「壬生お殿様料理(要予約)」の認定店舗で、歴史を感じる食事も楽しめます。 ☎ 0282-25-8075 ● 20台



2 蘭学通り

壬生町通町
(壬生駅入口交差点から国道352号との交差点まで)

壬生町の大通り(正式名:日光道中壬生通)は、壬生藩主の蘭学振興により多くの蘭学者を輩出したことに因んで「蘭学通り」と呼称されるようになりました。明治初期の地図からは、多くの蘭方医が開業し活躍していたことが伺えます。歴史を感じる通りには、「みぶブランド」認定店舗もあり、お土産の購入もできます。 ☎ 0282-81-1844 ● 3台(自成館)※満車時は、城址公園駐車場をご利用ください。



4 東雲公園

壬生町壬生甲600

とき景勝100選のひとつである桜の名所です。黒川両岸に約250本の桜が咲き誇ります。ご家族連れや友達同士など、ピクニックや散歩などで地域の皆様に親しまれている公園です。しのめ花まつりの会場で、まつり期間中は公園内が行灯や和傘などでライトアップされます。 ☎ 0282-81-1854 ● 135台



那珂川町は人口約1万4千人、栃木県の東北東で茨城県に隣接する、自然豊かな町です。典型的な内陸型の気候で、寒暖の差はあるものの年間を通じて比較的温暖なため、降雪量も少なく過ごしやすい環境です。町の中央を流れる清流・那珂川を取り囲む里山の美しい景色と、良質な温泉、美術館やキャンプ場といった施設が多く点在しています。○公共交通を利用する方...JR宇都宮線氏家駅から関東自動車バス「馬頭車庫行き」で約60分○お車をご利用の方...東北自動車道宇都宮インターから国道293号で那珂川町へ 常磐自動車道那珂インターから国道118号→国道293号で那珂川町へ



むもじょうあと 武茂城跡

正応永仁年間(1288年~1299年)に、宇都宮景綱の三男武茂泰宗が築造したと伝えられています。武茂氏の菩提寺である乾徳寺を中心に寺を囲むように東西の山に位置し、広さは4haにも及びます。室町期から戦国時代末期の山城として、郭や土塁、堀などが良好に残っています。(栃木県指定史跡)

📍 那珂川町馬頭2576ほか P 80台(那珂川町馬頭広重美術館に隣接)
☎ 0287-96-3366(なす風土記の丘資料館) / 0287-92-1103(那珂川町郷土資料館)



御城印の
購入場所

那珂川町馬頭広重美術館

📍 那珂川町馬頭116-9
☎ 0287-92-1199

那珂川町郷土資料館

📍 那珂川町馬頭116-5
☎ 0287-92-1103

那珂川町なす風土記の丘資料館

📍 那珂川町小川3789
☎ 0287-96-3366

那珂川町観光協会

📍 那珂川町北向田179-1
☎ 0287-92-5757



周辺スポット紹介



1

那珂川町馬頭広重美術館

那珂川町馬頭
116-9

隈研吾氏設計の「和」の建築である那珂川町馬頭広重美術館は、広重芸術と自然美を調和させた落ち着いたたたずまいが特徴です。令和8(2026)年2月28日にリニューアルオープンしました。
☎ 0287-92-1199 P 80台



3

ゆりがねの湯

那珂川町小口1671-1

町の中央を流れる清流那珂川のほとり、馬頭温泉郷にある日帰り温泉浴場。泉質は、アルカリ性、無色透明の単純泉。非常に滑らかで肌に良い「美人の湯」です。
☎ 0287-92-3023 P 60台



2

道の駅ばとう

那珂川町北向田181-2

朝採れ新鮮野菜や、季節ごとに採れる様々な果物が豊富に並んでいます。地元の生産者による加工品や地元業者によるお土産などもあり、ここに来れば那珂川町の名産品が見つかります。
☎ 0287-92-5711 P 65台

4

アイス工房 武茂の郷

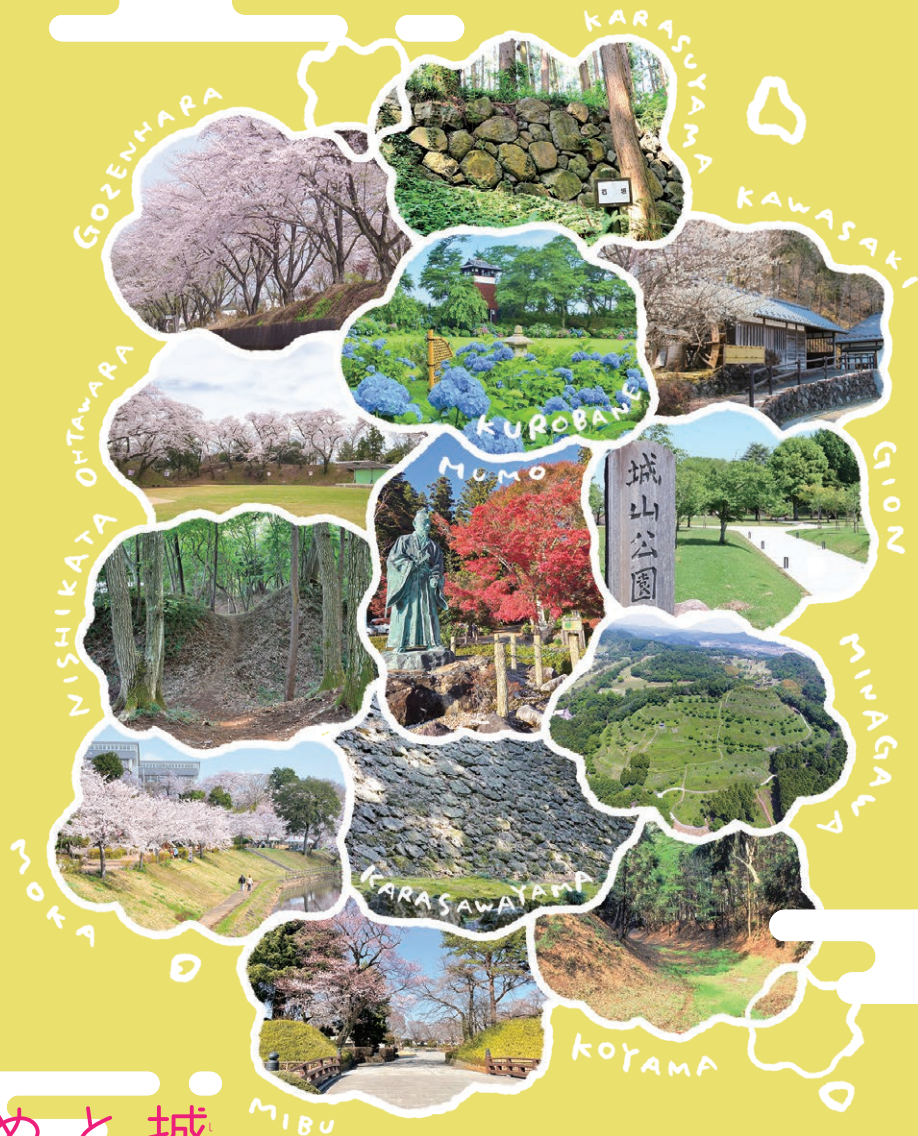
那珂川町北向田179-3

素材を活かした濃厚さと滑らかな舌触りが特徴で、県外からも多くの人が訪れます。季節に応じた限定のフレーバーなどを出しています。

☎ 0287-92-0061

P 65台
(道の駅ばとう敷地内)





めと城 ぐち× りぎ旅



発行：「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会
 お問い合わせ：「本物の出会い 栃木」観光プロモーション協議会事務局(栃木県観光交流課内)
 〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号 / TEL 028-623-3305